

免田式土器研究の現在

本目遺跡発見 110 周年記念 肥後考古学会第 288 回例会

主催 肥後考古学会

後援 あさぎ町教育委員会 求麻郷土研究会

熊本日日新聞社 人吉新聞社 人吉中央出版社

11/29 (土) 10:00 ~

あさぎ町須恵文化ホール大ホール

熊本県球磨郡あさぎ町須恵 1227、電話 0966-45-5511

事前申し込みは不要です。会員以外でも参加できます。

資料代 1000 円程度 当日、会場でお求めください。

日 程

(1) 受付 9:30

(2) 開会 10:00 ~

挨拶 10:00 肥後考古学会会長、あさぎ町教育長

(3) 発表 10:10 ~

10:10 ~ 10:40 免田式土器の研究史 西山由美子

10:40 ~ 11:10 免田式土器の再評価 木崎康弘

~休憩 11:10 ~ 11:20 ~

11:20 ~ 12:00 本目遺跡の発掘成果と課題 佐古和枝・河森一浩

~昼食 12:00 ~ 13:00 ~

13:00 ~ 13:30 荒毛遺跡確認調査報告 手柴友美子

13:30 ~ 14:00 本目遺跡の保存活用 秋元めい

~休憩 14:00 ~ 14:10

14:10 ~ 15:00 討論 コーディネーター 清田純一

(4) 展示見学 15:00 あさぎ町特別展 (本目遺跡出土品及び才園古墳出土品)

(5) 閉会 15:30

(6) 現地見学 15:50

(7) 現地解散 16:20



【問い合わせ先】 higokouko@gmail.com

ホームページ <https://higokoukogakkai.wixsite.com/higokouko>

本目遺跡は、免田式土器の標式遺跡として著名な、弥生時代後期の遺跡です。

2025年、今年は、そんな本目遺跡の発掘 30 年目の年です。

また、来年は、本目遺跡の発見から数えて 110 年目の年でもあります。

肥後考古学会では、その節目の年をとらえて、本目遺跡を記念する例会を企画しました。

そのテーマは

“免田式土器研究の現在”

主催者代表



島津義昭氏

肥後考古学会長。元崇城大学非常勤講師
九州文化財研究所特別相談役。
1946 年阿蘇市生まれ。
國學院大學史学科（考古学専攻）卒業

コーディネーター



清田純一氏

肥後考古学会副会長。元崇城大学非常勤講師
元塚原歴史民俗資料館長
1956 年熊本市城南町生まれ。
熊本商科大学（経済学専攻）卒業

発表者



西山由美子氏

肥後考古学会幹事
福岡県大牟田市出身
八代市文化振興課 参事
熊本大学文学部（考古学専攻）卒業



木崎康弘氏

熊本地名研究会長。熊本県立大学非常勤講師
八洲開発株式会社木崎文化財研究室長
1956 年球磨郡錦町生まれ
明治大学（考古学専攻）卒業 博士（史学）



佐古和枝氏

関西外国語大学教授
鳥取県米子市出身
同志社大学大学院修了
1994・95 年に熊本県本目遺跡の発掘調査
を担当。



河森一浩氏

京都府宮津市教育委員会
1974 年、静岡県生まれ
同志社大学大学院博士過程前期修了
1994・95 年に熊本県本目遺跡の発掘調査に
参加。



手柴友美子氏

人吉市教育委員会 主席
熊本県宇城市豊野町生まれ。
別府大学大学院博士過程前期修了
重弧文土器等、弥生時代終焉期を研究



秋元めい氏

あさぎり町教育委員会 参事
岡山県倉敷市生まれ
琉球大学大学院博士過程前期修了
2016 年度にあさぎり町役場に入庁、現在文化
財の調査研究・活動を推進している。大学・大
学院では、南九州の地下式横穴墓を研究。

免田式土器は、重弧文土器（長頸壺）が大量に見つ
かった本目遺跡を標式遺跡に、遺跡がある免田町の町
名を冠して設定された土器様式です。この様式の一番
の特徴は、重弧文土器を伴うことで、算盤玉の胴部に
細長い頸を付けたフロポーションと、胴部に施された重
弧文などの優美な文様の土器として長く親しまれてきま
した。まさに郷土の誇りの一つです。



あさぎり町新深田遺跡出土の
重弧文土器

当日、会場の須恵文化ホールコミュニティホールでは、特別展が開催中です。

テーマ：「輝きの里帰リー才園古墳と本目遺跡が語る古代の物語」

期 間：令和7年11月25日（火）～12月7日（日）